

目 次

I. 総括研究報告書

- 地域のストレンクスを活かした精神保健医療改革プロセスの明確化に関する研究
研究代表者 竹島 正1

II. 分担研究報告書

1. 地域のストレンクスを活かした精神保健医療改革達成における情報共有と対話促進に関する研究
(1) 地域と研究の協働による地域精神保健医療に関する協議の場づくりの手引の開発
竹島 正、高橋 邦彦、立森 久照、山之内 芳雄、籠本 孝雄、他7
- (2) 一般医療で経験されるこころの健康問題等の調査11
竹島 正、菅 知絵美、岡野 敏明、立森 久照
2. 地域のストレンクスを活かした精神保健医療改革に資する資料の作成25
立森 久照、菅 知絵美、加藤 直広、臼田 謙太郎、後藤 基行、他
3. 精神保健医療改革の達成プロセスの円滑化と資源活用に関する研究35
山之内 芳雄
4. 自立支援医療の適正な提供に関する研究51
我澤 賢之、清水 寛之、竹島 正、岩谷 力
5. 精神障害者の人権確保に関する研究61
河崎 建人、平田 豊明、浅井 邦彦、太田 順一郎、岡崎 伸郎、他
6. 地域における精神障害者の人権確保に関する研究73
—精神障害者に対する地域のまなざしと専門職の構えを中心に—
古屋 龍太、矢野 香、松川 靖、中越 章乃

III. 地域と研究の協働による地域精神保健医療に関する協議の場づくりの手引85